

# 新千歳空港～エスコン～す

## 北海道・新大 「夢のアンビシャス・

# すきのの～丘珠空港

## 動脈構想 モノレール」とは

北海道日本ハムファイターズの新北拠地となって賑わう北広島のFビレッジを中心に新千歳空港とすきのの、丘珠空港を直接結ぶ「道央圏・新大動脈モノレール構想」が北広島市在住の経済人らによって描かれている。JR千歳線と国道36号だけでは不安定な冬季間に安定した第3の大動脈を造ろうというもので、将来的には苫小牧港と石狩湾新港を結ぶ太平洋～日本海直結ルートも構想もある。巨額の建設費をどうするかなど越えるべきハードルは高いとはいえ、新構想は首都圏の災害時に「首都機能のバックアップができる札幌圏」の可能性を高めるものとしても一考の価値がありそうだ。(ジャーナリスト・黒田 伸)

### 地下鉄空白地帯の清田へも

北広島市在住の経済人で、数年前に第一線を退いたものの街づくりに情熱を燃やす会社役員が数年前から温めていた構想で、エスコンフィールド北海道を中心とするFビレッジに昨年、418万人もの人が訪れるなど、新たな札幌圏の中心拠点となりつつあることに注目して第3の大動脈の必要性を感じたという。

「千歳に次世代半導体工場ラピダスも来る」とだし、今の交通網とは違う大動脈が必要だ。北広島のエスコンを中心にして新千歳空港と丘珠空港を結び、将来は苫小牧港と石狩湾新港を結ぶモノレールが出来ないものか」と、1年ほど前から同市内の元市議会議員や大学教授らに相談していた。その後、このメンバーが中心となって昨年

うな階上駅を付近に設置する。

さらにそこから札幌・清田方面へ延ばし清田区内に駅を設置。再び国道36号の上を通過して地下鉄豊水すすきの駅に直結させる。地下鉄東豊線の福住駅から清田方面への地下鉄延伸がなかなか実現しない中で、モノレールが出来れば、周辺の土地利用が格段に進み、

住民の悲願がかなう。

国内外の観光客は、すすきのを中心にした札幌中心部のホテルに滞在することが多く、新千歳空港へ向かうには地下鉄東西線で新さつぽろまで行き、JRに乗り換えて行くか、JR札幌駅まで地下鉄南北線に乗り、札幌駅から快速エアポートに乗り換えて空港に向かうことが多い。

### 国道36

号を走る空港直行バスの利用者も多いが、冬場は積雪の影響で遅れることも多く、軌道が安定している



▲エスコンフィールド北海道の横を通るJR千歳線

「夢かも知れないが、夢は言葉にすることで実現する」と、有志メンバーは星槎道都大美術学部の学生とも連絡



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を  
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから  
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

**TEL 011-644-0101**

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)